Allied Telesis

自律型ネットワーク統合管理

～一元管理・自動構築・自動復旧～





IoTの普及、DXの推進

AMF

課題

ITインフラの大規模化・
大容量化に伴う管理の複雑化

解決策

運用管理を「一元化」
「簡素化」「自律化」し、
統合管理を実現

その“ネットワーク”の管理と運用、

現代のITインフラは、昨今の社会問題が起因となり、さまざまな課題に直面しています。
IoTの普及やDXの推進に伴い、分散した拠点や業務の統合管理が不可欠となった上、ITインフラの需要拡大やインシデント対策も必須となり、管理者の負担を増加させる要因になっています。



サイバー攻撃の巧妙化

AMF-SEC

課題

脆弱なITインフラを要因とする
インシデントの増加

解決策

セキュリティ強化に加え、
運用負荷や運用コストを
大きく削減



働き方改革の推進

AMF-WAN

課題

より柔軟で安定した
ITインフラの需要拡大

解決策

予兆検知や柔軟なルール
変更、一元管理などの
多彩な機能を備えて
WANを快適化

複雑で煩雑になっていませんか？

そこでアライドテレシスは、管理者がLAN、WAN、有線、無線などといった通信方式を意識せず、かつ一元的な運用管理を簡単にセキュアに実現できる自律型ネットワーク統合管理ソリューションをご提案します。

FUTURE PLAN

AMFは、管理者が意図を入力するだけで、あとはネットワークインフラが学習・分析・適応していく新たな管理・運用形態“インテント・ベース・ネットワーク”を実現する基盤“Artificial Intelligence Management Framework”に進化します。



人口減少や高齢化の影響

Vista Manager Series

課題

ITインフラの管理者高齢化と
それに伴う減少

解決策

直感的・視覚的で
シンプルな
管理運用効率向上

解決 1

運用・管理を「一元化」「簡素化」「自律化」で解決

煩雑なネットワークを一元管理

お困りごと

IoT普及、DX推進 - ITインフラの大規模化・大容量化による管理の複雑化

ネットワークに接続できるデバイスの数・種類は増加し続け、ITインフラの構成も多様化し、その管理・運用はますます複雑化しています。

- ●現場のニーズが多様化し、構築に手間がかかる
- ●利用端末の増加により、ネットワークの管理工数が増大した
- ●ネットワーク専門の担当者がいないため、不具合に対応できない

アライドテレシスが解決

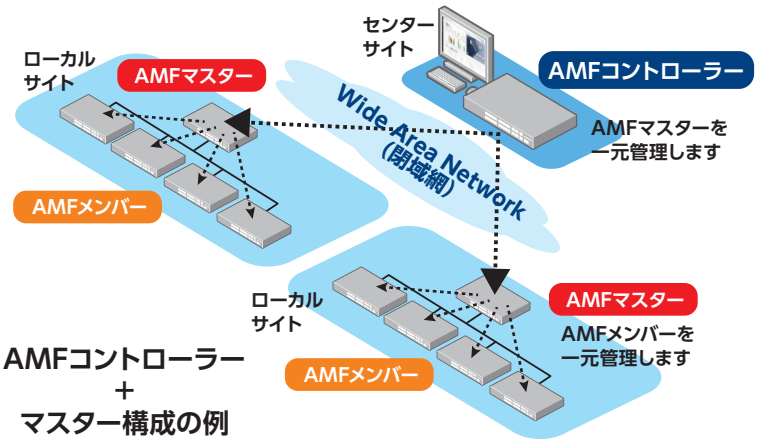
「一元化」「簡素化」「自律化」し、ネットワークの統合管理を実現するAMF

AMFはネットワーク管理・運用の「一元化」「簡素化」「自律化」を行うことで、ネットワークの統合管理を実現し、運用・管理にかかるコストや工数、技術スキルなどを大幅に削減することが可能です。

●AMFとは

AMFは、アライドテレシスが独自開発したネットワークの自律的な統合管理を実現する技術です。一元管理や自動構築に加え、自動復旧などより簡単で利便性の高い統合管理機能により、ネットワークトラブルのリスク回避が可能になります。

AMFネットワークを構成するデバイス(AMFノード)はAMFマスターとAMFメンバー、AMFコントローラーの3種類に分けられます。AMFコントローラーがAMFマスターを、AMFマスターがAMFメンバーを管理します。この機能により、各AMFメンバーも、例えば複数拠点にまたがるAMFマスターも一元管理が可能になります。



AMFコントローラー
＋
マスター構成の例

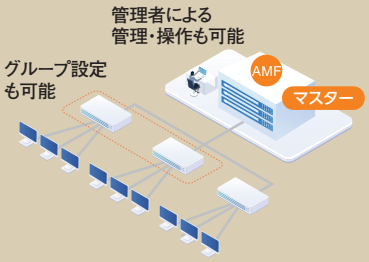
●人や物の重複・分散による高コスト化の解消　●複雑な構造・煩雑な手順による工数の増大を解決

例えば管理対象が80台存在する場合・・・

一元化	管理工数	従来型工数 / AMF	1/80	●従来は80台を個別に管理 ●AMFは管理IP・ファーム・コンフィグを一括管理
簡素化	運用工数	従来型工数 / AMF	1/6	●従来は多くの事前準備が必要(復旧までに約120分) ●AMFは予備機への再接続で自動復旧(復旧までに約20分)
自律化	変更料金	従来型費用 / AMF	1/8	●従来は¥160,000(¥8,000×20時間(80台×15分)) ●AMFは¥8,000(¥8,000×1時間(Working-setで一括作業のため、実質は15〜20分))

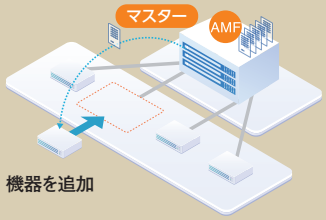
●一元管理

ネットワーク環境の設定や情報参照、グループ単位での設定変更がマスターとなる機器から可能になるため、管理者の負担を軽減します。



●自動構築

マスターとなる機器にあらかじめ登録しているファームウェアや設定ファイルを、機器の追加時に接続するだけでマスター配下の機器に自動で適用します。



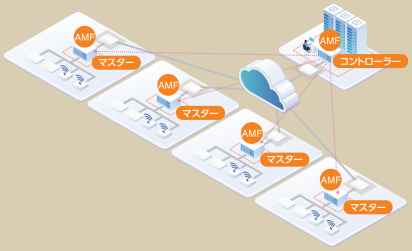
●自動復旧

ファームウェアのバージョンアップや、設定の復元などの作業を自動で行うため、機器の故障時は工場出荷状態の機器に交換するだけで、自動的にネットワーク設定が復旧します。



●分割管理

1台のコントローラーは複数のマスターを管理できます。マスターとなる機器は管理可能台数が限られているため、コントローラーを使用することで大規模ネットワークでも一元管理が可能になります。



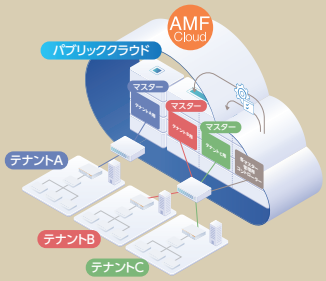
●ネットワークデバイス管理

監視カメラ、医療機器、IP電話などのIoTデバイスも、ネットワーク機器として情報を参照でき、管理が可能です。他社などの非AMF製品対応機器を使用している場合でも、他社製品配下のAMF対応機器の情報参照・管理が可能です。



●クラウド対応

クラウド上にAMFサービスが構築できるため、設備投資の負担を軽減できます。マルチテナント構成への対応も可能なため、ユーザーごとにAMFサービスを割り当てた運用もできます。



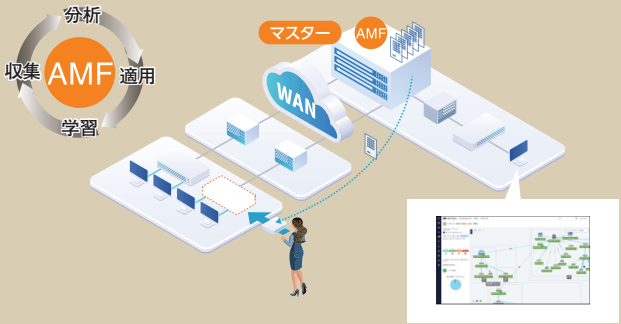
●ネットワークの可視化

AMFで構成されたネットワークのマップがグラフィカルに自動生成されるため、視覚的にネットワークの構成状態を確認できます。
(連携アプリケーション:AT-Vista Manager EX)



●ネットワークの自律最適化

AMFとVista Managerシリーズを連携することで、トラフィック状況・端末の状況監視による予測分析や、アプリケーション連携による不正端末の通信遮断(AMF-SEC)などが利用可能となり、ネットワークの自律最適化を促進します。



FUTURE PLAN

今後は設定した他社デバイスが検出された場合に、個別のユニークなアイコンで表示する事が可能になります(カスタムアイコン)。他社デバイスの視認性を高める事で、ネットワーク全体の直感的な管理を一層推進します。

解決 2

インシデントの発生を解決

「気づいたときには、既に手遅れ」を確実に防ぐために

お困りごと

サイバー攻撃 - 脆弱なITインフラを要因とするインシデントの増加

ウイルスがネットワークへ侵入したことに気づいた時点では、すでに感染はネットワーク全体に広がっています。

- **サイバー攻撃などの被害や拡散を防止したい**
- **社内からの情報漏えいなどのセキュリティー対策が心配**
- **ネットワークの運用管理に手間やコストがかかる**

アライドテレシスが解決

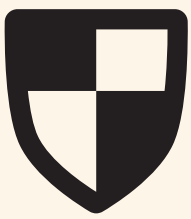
AMF-SECでセキュリティ強化に加え、運用負荷や運用コストを大きく削減

AMF-SECにより、感染した端末を自動的にネットワークから遮断し、セキュリティインシデントの拡散を抑止します。

●AMF-SECとは

AMF-SECは、ソフトウェアによりネットワーク機器を集中的に制御するSDN（Software Defined Network）でネットワークの構成や設定を柔軟かつ動的に変更できる画期的な技術です。
標的型サイバー攻撃対策やIT資産管理のパートナー各社のアプリケーションとネットワークを連携・連動することで、セキュリティ強化や、ネットワークの運用にかかるコストの削減、運用負荷の低減を実現します。

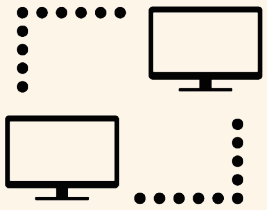
セキュリティ



●セキュリティの向上・強化

■標的型攻撃・ウイルス対策
■監視、分析、制御
■不正操作禁止・脆弱性端末排除

プロビジョニング

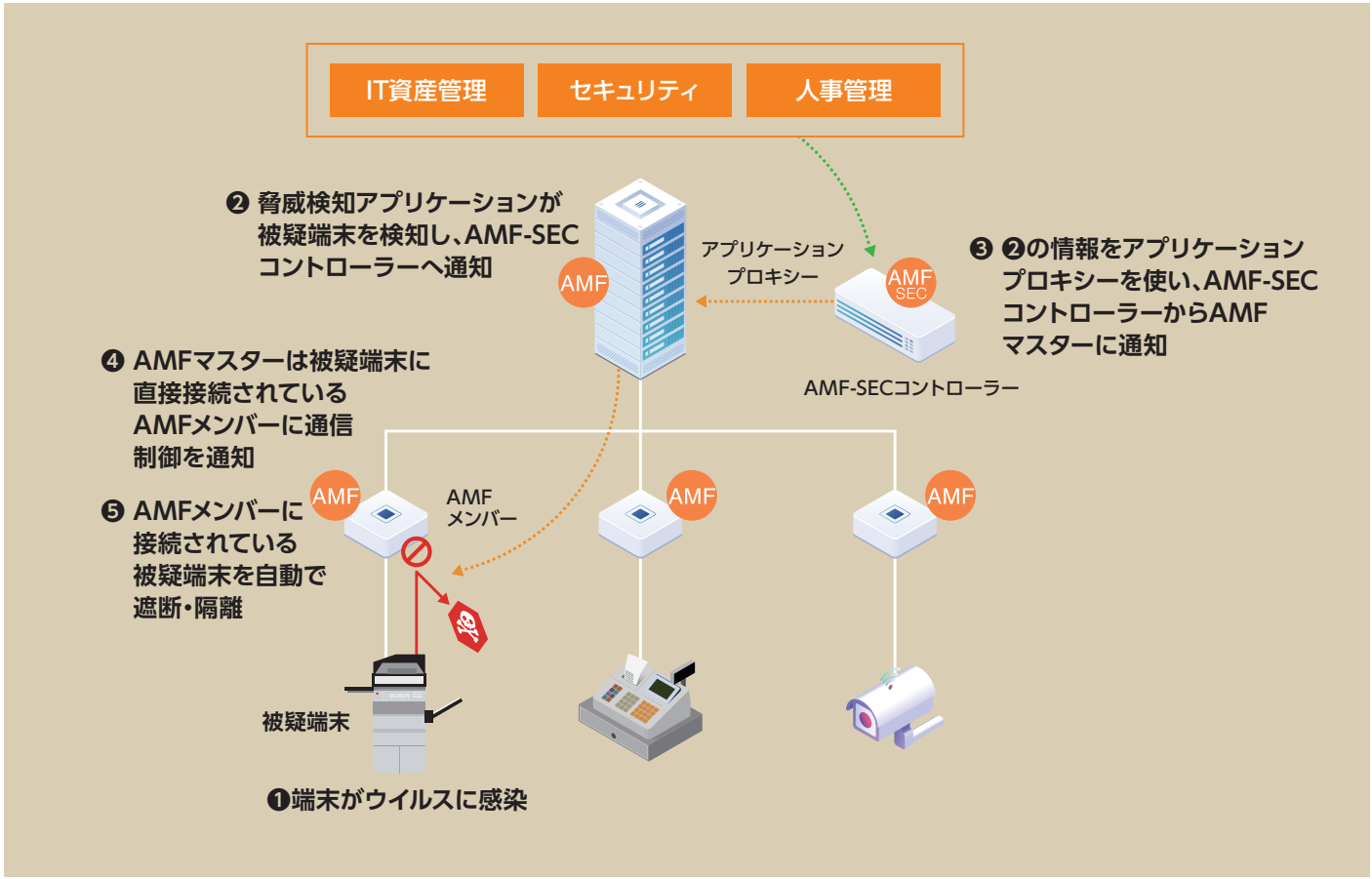


●ホワイトリスト連携

■IT資産管理
■人事管理
■認証

●AMF-SEC　システム概念図

アンチウイルスアプリケーションを入れた場合のAMF-SECによるウイルス感染制御経路



●AMF-SECの実現環境

上記で説明した被疑端末の自動遮断・自動隔離の機能がAMF-SECを導入することで実現が可能になります。
実現環境として、AMF-SECコントローラーおよびAMF-SECコントローラー miniをご提供しております。

AMF-SECコントローラー

仮想化環境に導入可能なAMF-SECコントローラーのソフトウェア（仮想アプライアンス）です。AMFを既にご利用中の環境では、本ソフトウェアを追加するだけでAMF-SECが利用でき最小限の投資でセキュリティ強化を実現します。

AMF-SECコントローラー mini

スイッチやルーター、アプライアンスボックスなどの筐体上でAMFマスターに加えAMF-SECコントローラーも動作させることができます。新たに統合管理とセキュリティ強化を両立するネットワークを、最小限のコストで実現可能になります。

※AMF-SECコントローラーを利用するためにはAMFマスターがAMFアプリケーションプロキシー機能に対応する必要があります。対応機種はP.13をご覧ください。

米国サンフランシスコ開催
RSAカンファレンス
INFOSEC AWARDS 2020
2部門W受賞
・Most Innovative Insider Threat Prevention（革新的なインサイダー脅威防止部門）
・Next-Gen Endpoint Security（次世代エンドポイントセキュリティ部門）

GOLD WINNER

BRONZE WINNER

FUTURE PLAN

今後はアプリケーション連携に加え、Captive portalの強化やPasspointへの対応といった認証機能の強化により、包括的なセキュリティ基盤として進化を続けます。

解決 3

混線や回線負荷によるネットワークの遅延を解決

AMF-WANで快適なネットワークを

お困りごと

働き方改革 - より柔軟で安定したITインフラの需要拡大

IP電話利用の一般化や、WAN回線への依存度が高まり、パソコンをはじめ、スマートフォン、タブレットなどネットワークに接続される端末が多様化し、IoT化が急速に進んでいます。

●拠点が増減する度にネットワークの設定が面倒
●Windowsアップデートの時期などに、回線が重くなり日常業務に支障がでる
●回線の可用性を上げたいが、コストは抑えたい
●Office 365などのSaaSの導入により、インターネットが遅くなった・・・など

アライドテレシスが解決

多彩な機能でWAN回線を最適化するAMF-WAN

AMF-WANにより、帯域圧迫などWANにまつわる様々な課題を、回線への負荷分散などの技術を利用した多彩な機能で快適なWANの利用環境を実現します。

●AMF-WANとは

AMF-WANは、ソフトウェア制御によってネットワークの運用・管理を動的に行う技術「SDN」をWAN（広域ネットワーク）に適用したものです。
AMF-WANを活用することで、ネットワーク・パフォーマンスを最適化しWANの管理を簡易化します。
AMF-WANを活用することで、クラウド型のアプリケーションやインターネット接続で圧迫された帯域の負荷分散やネットワークコストの削減を行い、快適なネットワークを実現します。回線品質やネットワーク障害の原因を監視・管理を行い、特定アプリケーションのデータ量を優先制御することでネットワーク運用のパフォーマンスを向上させます。
また、AMF-WANは、ネットワークの可用性を向上させるAMFとセキュリティの確保を行うAMF-SEC、運用の効率化を図るAT-Vista Manager EXと連携することで、より安定したネットワーク運用を可能にします。



機能紹介

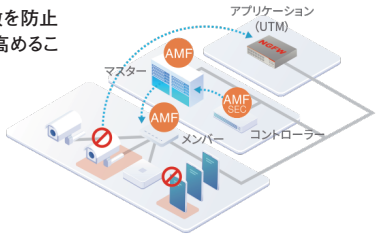
AMF-WANの機能

回線の負荷分散や帯域制御・アプリケーション制御だけでなくAMFやAT-Vista Manager EX、AMF-SECとの連携により、ネットワークの可用性向上、運用の効率化、セキュリティの確保などを、AMF-WANが解決します。

端末やToTデバイスを含め、ネットワーク全体のセキュリティを強化

●AMF-SEC ネットワークセキュリティ

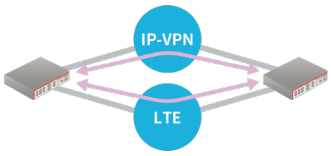
AMF-SECコントローラーと連携し、AT-AR3050S・AT-AR4050Sで検知した脅威情報をもとに、脅威が検出された端末に接続されているスイッチや無線LANアクセスポイントのポートを自動的に遮断、隔離することで、LAN内の脅威の拡散を防止し、ネットワーク全体の安全性を高めることができます。



アプリケーション単位でWAN回線をロードバランス

●SD-WANロードバランス

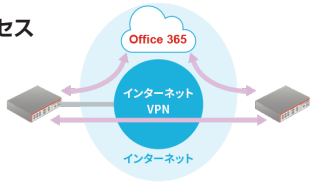
複数のWAN回線をアクティブ-アクティブで運用し、無駄のないイントラネットを構築できます。IPアドレスやポートベースのロードバランスに加えアプリケーション単位での振り分けも可能です。



特定のアプリを拠点からダイレクトアクセス

●インターネットブレークアウト

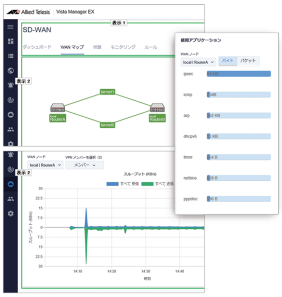
特定のアプリケーションだけを抽出しセンターを経由せず拠点から直接インターネットへ接続し、センター側回線のトラフィックを削減します。



WANの利用状況を可視化

●WANトポロジーマップ

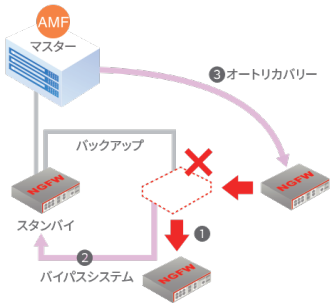
AT-Vista Manager EXのWANトポロジーマップはWANの使用状況を可視化します。多くの企業で導入されている暗号通信IPsec VPNを可視化しているため、実際の運用に沿った情報を見ることができます。
VPNトンネルの接続状態を色で表しているため、それぞれの状態が一目でわかります。さらに利用されているアプリケーションの使用量も可視化もできます。



回線一本で止まらないWANを実現/自動設定で簡単復旧

●バイパスシステム・オートリカバリー

バイパスポートを搭載し、1本のWAN回線で機器冗長が可能です。アクティブ側の機器の電源故障を含む機器故障やLAN側ポートのリンクダウンなどの際に、スタンバイ側の機器に切り替えることでダウンタイムを抑えることができます。回線費用を節約しシステム全体の可用性を高めつつ、さらにAMF機能により機器を交換するだけの迅速な復旧を実現し、保守性も向上します。オートリカバリーは使用することで故障機の交換時の作業を自動で行います。

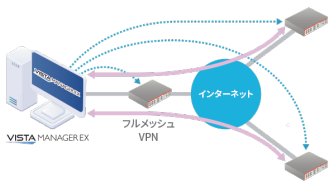


リリース予定

VPNを簡単構築・簡単管理

●ダイナミックVPN

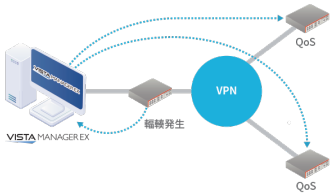
安価なインターネット回線を使用してプライベートネットワークを簡単にセキュアに構築できます。フルメッシュVPNを構築すればセンター側のトラフィックを分散することも可能です。



トラフィックを一括制御

●ダイナミックトラフィックコントロール

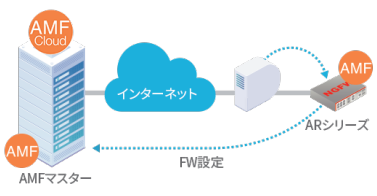
回線トラフィックを監視し、トラフィックに応じた帯域制御をネットワーク全体で行えます。全ての拠点のWAN回線の輻輳制御や回線の使用率に応じた帯域の割り当てなどが行え、WAN回線を有効活用することが可能です。



WANに接続するだけで自動設定

●ゼロタッチコンフィグレーション

工場出荷時の状態の機器にWAN回線を接続するだけで設定作業が自動的に完了します。ネットワーク機器に精通した技術者を派遣することなく簡単に設置作業を完了することが可能になります。



FUTURE PLAN

WANの利用状況や使用量を可視化することが可能になります。管理者の意図に基づき、AMFが自動的にトラフィックを最適化するインテントベースネットワークを実現、限られたWAN帯域をいつでも快適に利用頂く事ができるようになります。

簡単にシンプルにネットワーク管理を実現

お困りごと

人口減少 - ITインフラの管理者の減少

これからの10年も人口減少が予測されており、ネットワーク管理者の減少も懸念されています。

●ネットワークが複雑で把握しきれない
●有線も無線もLANもWANも管理したい

アライドテレシスが解決

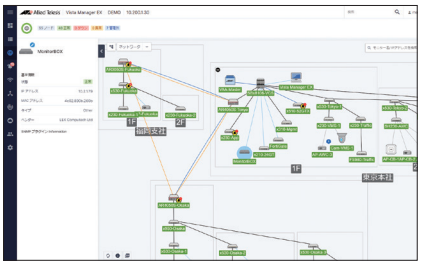
Vista Managerシリーズの直感的・視覚的でシンプルな管理運用効率向上

Vista Managerシリーズを利用することで、LAN・WAN・有線・無線にまたがるネットワーク全体を可視化し、複雑なネットワーク運用管理の統合が可能になります。管理者の人数が限られていても安定して高品質なネットワークを実現します。

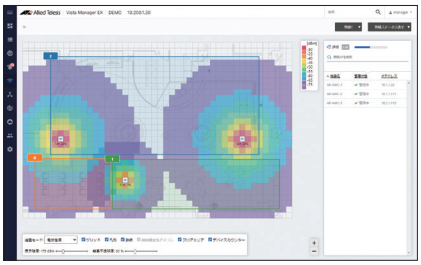
●Vista Managerシリーズとは

Vista Managerシリーズはアライドテレシス製のスイッチ、ルーターや無線LANアクセスポイントだけでなく、他社製品のネットワーク機器も含め、オンプレミスでもクラウド環境でも一括管理するネットワーク管理ソリューションです。可視化することで直観的な画面操作により、簡単にシンプルにネットワーク管理を実現。ネットワークの状況、トラブルを即座に確認し、タイムリーに問題や事象を解決します。

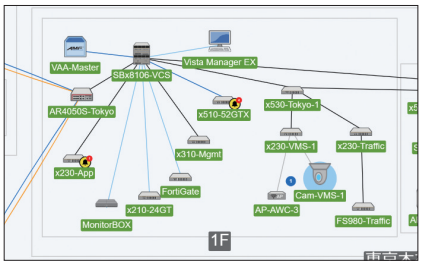
Vista Managerシリーズの管理画面と特長



ネットワークマップ



無線LAN管理



SNMP管理

資産管理
ネットワーク機器に加えIoTデバイスも一括で管理

トラフィックモニター
LAN/WANの通信状況・内容を見える化

Tracepath
機器間の経路情報をマップに表示

VLANマップ
GUIでVLANの設定、表示・編集

サービスモニタリング
ノード上のサービスの状態を監視

Syslogサーバー
Syslogから迅速な状態把握、異常検知を可能に

※対応機器はAT-Vista Manager EX/Vista Manager APL/Vista Manager miniで異なります。
詳細はこちらから：https://www.allied-telesis.co.jp/solution/vista-ex/index.html

●機能の詳細はこちらから
https://www.allied-telesis.co.jp/products/list/nms/at-vista-ex/catalog.html

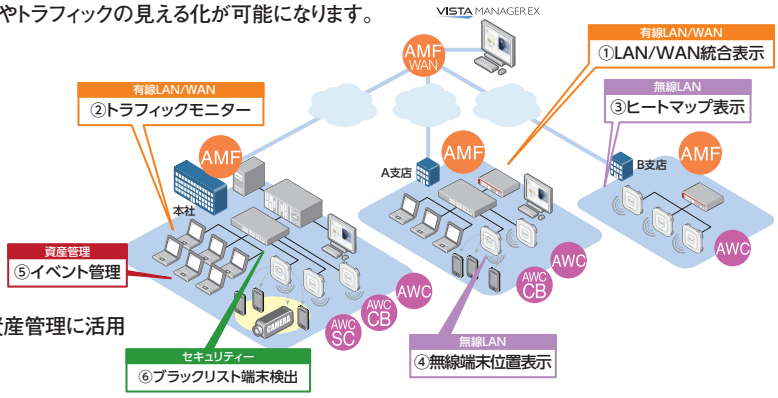
管理規模やニーズに合わせてネットワークの統合管理を実現する AT-Vista Manager EX、Vista Manager APL、Vista Manager mini

大規模なネットワークも見える化で統合管理〈AT-Vista Manager EX〉

高い拡張性で小～大規模なネットワーク管理まで柔軟に対応でき、機器やトラフィックの見える化が可能になります。

特長

・WAN・LAN、有線・無線の統合管理
・SNMPに対応
・必要なライセンスを追加することにより無線エリアの拡大が可



利用シーン

①本社と拠点を一括管理
②画像データなどのトラフィック量を監視
③無線APの電波状況を把握
④IP電話やタブレット端末などの移動軌跡を把握し、動線管理や資産管理に活用
⑤機器のトラップ情報を元に管理者にメール通知
⑥不正端末の侵入を未然に防ぐ

LAN/WANを統合してオールインワンのネットワーク管理〈Vista Manager APL〉

豊富な機能はそのままに、小～中規模環境に最適な機能性をもち、統合フレームワークやセキュリティもまとめてご提供します。

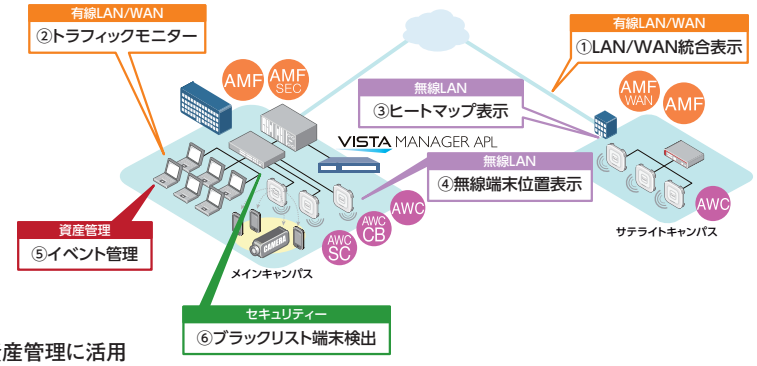
特長

・中規模までのLAN/WAN管理に最適
・ネットワーク統合管理に必要な機能がオールイン



AT-VST-APL-10
（リリース予定）

AT-VST-APL-06



利用シーン

①本社と拠点を一括管理
②画像データなどのトラフィック量を監視
③無線APの電波状況を把握
④IP電話やタブレット端末などの移動軌跡を把握し、導線管理や資産管理に活用
⑤機器のトラップ情報をマップやイベントログに表示
⑥不正端末の侵入を未然に防ぐ

ネットワーク規模に合わせて手軽な導入が可能〈Vista Manager mini〉

LANに特化した直観的なネットワーク管理を実現します。
小規模～中規模の有線・無線LANもオールインワンで管理します。

特長

・LANの管理に最適
・スイッチやルータに内蔵
・必要なライセンスを追加するだけで無線エリアの拡大が可能





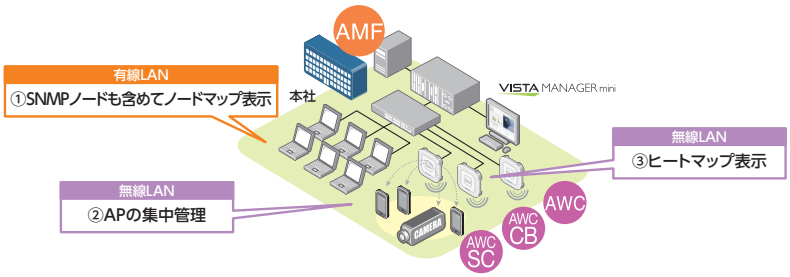
SwitchBlade x908 GEN2



x950 シリーズ



AT-AR4050S



利用シーン

①有線の一元管理とノードの状態表示
②建物内の無線APを一元管理
③ヒートマップで建物内の無線APの電波状況を可視化

●AT-Vista Manager EXご利用の場合は別途ライセンスが必要です。また、Vista Manager APLまたは Vista Manager miniをご利用の場合には、対応機器がそれぞれ必要となります。P.13をご確認ください。

AMF & AMF-SEC　ライセンス選定ガイド

●導入・保守・運用コストを削減し、運用管理を「一元化」「簡素化」「自律化」を実現する統合管理機能のAMFがおすすめです。
●さらにAMFの基盤を用いて、感染した端末を自動的にネットワークから遮断やセキュリティインシデントの拡散を抑止し、セキュリティ強化と運用管理の効率化を実現する機能のAMF-SECを導入頂けます。
●下記ガイドから、AMFとAMF-SECの利用に必要な機器を選定頂けます。

小規模向け　**AMFネットワークを構成する上での条件をお選びください**　大規模向け

①オンプレミスで保有する資産を用いて、ネットワークと管理を統合した基盤で運用したい	②オンプレミスで保有する資産を用いて、ネットワークと管理が独立した基盤で運用した	③ハードウェア資産は保有したくない
 統合管理をスイッチ・ルーターで実現	 アプライアンスボックスによる統合管理を提供 ネットワーク構成のポリシー変更にも対応	 ソフトウェアでAMFネットワークを構成 月額・年額の支払いでスタート可能
●必要ライセンス・機器	●必要ライセンス・機器	●必要ライセンス
AMFマスターライセンス：AT-SW-AM10 など AMFマスター対応機器：AT-SBx908 GEN2 など	AMFライセンス：AT-AMFCLOUD-AM20L 統合管理アプライアンス：AT-VST-APL	AMFライセンス：AT-AMFCLOUD-AM20L
AMFマスターと同一筐体でAMF-SECコントローラーを利用。AMF導入済のお客様はこれまでの投資効果をさらに向上可能	アプライアンスボックスに標準搭載のAMF-SECコントローラー機能を用いてセキュリティ対策を最適なコストで実現	AMF Cloudと同様にソフトウェアでAMF-SECコントローラーを構成する事でハードウェア資産を持たずに統合管理&アクセス制御を実現
●追加ライセンス	●追加ライセンス	●追加ライセンス
AMF-SECコントローラー mini ライセンス	追加ライセンス不要	AMF-SECコントローラーライセンス：AT-SESC-BaseST-FLBD

さらにAMF-SECを追加する事で、セキュリティを強化できます！

パターン① オンプレミスの保有資産（スイッチ・ルーター）を利用する場合

※本パターンでは、AMF-SECコントローラー miniに対応する機器（青字）を導入している場合のみ、AMF-SECを追加できます

ソリューション	ライセンス・機器名	利用製品	概要	説明
AMF	AT-SW-AM10 AT-RT-AM5	SBx8100シリーズ SBx908 GEN2 x950シリーズ x930シリーズ x550シリーズ x530シリーズ AT-AR4050S	AMFマスターライセンス	AMF-SECコントローラー機能を提供し、同一筐体のAMF-SECコントローラーと連携しAMFメンバーでのアクセス制御を実現します
	■スイッチ製品本体　■ルーター製品本体 SBx8100シリーズ　AT-AR4050S AT-SBx908 GEN2 x950シリーズ x930シリーズ x550シリーズ x530シリーズ		AMF-SECコントローラー mini 対応機器	本製品に上記のライセンスを導入する事で、AMF-SECのアクセス制御に必要なAMF-SECコントローラー機能とAMFマスター機能の両方が本製品から提供できます
AMF-SECを追加する場合	AT-SW-ASEC※ AT-RT-ASEC	AT-SBx908 GEN2※ x950シリーズ※　AT-AR4050S	AMF-SECコントローラー mini ライセンス	本ライセンスを適用する事で、機器に内蔵したAMF-SECコントローラー機能を有効にでき、同一筐体のAMFマスターと連携して、AMFメンバーのアクセス制御を可能とします

※AT-SW-ASECライセンスはリリース予定です。本ライセンスを追加することでAT-SBx908 GEN2,x950シリーズはAMF-SECが利用可能になります。

パターン② オンプレミスの保有資産（VST-APL）を利用する場合

ソリューション	ライセンス・機器名	利用製品	概要	説明
AMF	AT-AMFCLOUD-AM20L	AT-VST-APL-06 AT-VST-APL-10	ソフトウェア（仮想アプライアンス）	AMFマスターまたはAMFコントローラーの機能をソフトウェア（仮想アプライアンス）として提供します
AMF& AMF-SEC	AT-VST-APL-06 AT-VST-APL-10		統合管理アプライアンス	●AMF-SECコントローラー機能に標準で対応しています ●本製品に上記のライセンスを導入する事で、AMF-SECのアクセス制御に必要なAMF-SECコントローラー機能とAMFマスター機能の両方が本製品から提供できます

パターン③ ハードウェア資産を保有せず、ソフトウェアを利用する場合

ソリューション	ライセンス名	利用製品	概要	説明
AMF	AT-AMFCLOUD-AM20L	AMF Cloud	ソフトウェア（仮想アプライアンス）※	AMFマスターまたはAMFコントローラーの機能をソフトウェア（仮想アプライアンス）として提供します
AMF-SECを追加する場合	AT-SESC-BaseST-FLBD	AMF-SEC コントローラー		AMF Cloudに対し、アクセス制御対象の端末情報を通知する事で、AMF-SECコントローラーからの端末情報を基にAMFメンバーでのアクセス制御を可能とします

※ソフトウェアにライセンス（利用権）が含まれています

●お客様のご希望やご要望に合わせた最適なネットワーク環境をご提案いたします。詳しくはお問い合わせください。
問い合わせページURL https://www.allied-telesis.co.jp/contact/index.html

ライセンス表

●本ページで掲載するライセンス名は、ライセンス期間（1Yなど）およびエディション名（2020など）を省略しています。実際のライセンス製品名には、期間とエディション名を含みますのでご注意ください。

AMF & AMF-SEC　ライセンスラインアップ

AMF & AMF-SECの機能は機器またはソフトウェアにアニュアルライセンスを導入する事でご利用頂けます

アニュアルライセンスとは？

●アニュアルライセンスは特定期間の機能利用を提供するサブスクリプション方式のライセンスです
●すべての機能について、1/5/7年間の利用期間をもつ「基本ライセンス」と、1年間利用期間を延長できる「更新用ライセンス」をラインアップし、利用期間に応じた最小限の投資でご利用いただく事が可能です
●一部機能は管理数を追加できる「追加ライセンス」を利用でき、ネットワーク規模の拡張にも柔軟に対応します

利用にあたっての注意

●機能の利用には基本ライセンスが必須となります。基本ライセンスがない場合は機能のサポートができませんのでご注意ください
●ライセンスの利用開始日はお客様で指定した日が適用されます。管理台数を追加する場合は追加分のライセンスごとに指定した利用開始日が適用されます

●AMFコントローラー /AMFマスター

機能	対応製品種別	製品名	管理数	基本ライセンス	追加ライセンス
コントローラー	AMF Cloud用		10マスター	AT-AMFCLOUD-CTRL	AT-AMFCLOUD-CTRL
	スイッチ製品	AT-SBx81CFC960	60マスター	AT-CF9-AC60	-
		AT-SBx908 GEN2		AT-SBx908G-AC60	-
マスター	AMF Cloud用		1メンバー	AT-AMFCLOUD-AM2L	AT-AMFCLOUD-AM2L
			10メンバー	AT-AMFCLOUD-AM20L	AT-AMFCLOUD-AM20L
	スイッチ用		10メンバー	AT-SW-AM10	AT-SW-AM10ADD
	ルーター用		5メンバー	AT-RT-AM5	AT-RT-AM5ADD

1）AMF Cloudのコントローラーライセンス AT-AMFCLOUD-CTRLは基本ライセンスで管理ノード数の追加に対応します

●AMF-SECコントローラー

対応製品種別	基本ライセンス
AMF-SECコントローラー	AT-SESC-BaseST-FLBD
AT-VST-APL用AMF-SECコントローラー	AT-SESC-BaseST-FLBD（内蔵）※1
スイッチ用AMF-SECコントローラー mini	AT-SW-ASEC※2
ルーター用AMF-SECコントローラー mini	AT-RT-ASEC

※1 AT-VST-APLではOpenFlowによるアクセス制御を行う場合のみ本ライセンスが必要です。　OpenFlowによるアクセス制御の詳細については弊社HPをご覧ください。
※2 AT-SW-ASECはリリース予定です。

Vista Managerシリーズ

ネットワークを可視化することにより、直感的・視覚的でシンプルな管理運用効率向上が可能となるVista Managerシリーズがおすすめです。
Vista Manager mini は対応機器※1を導入いただくことで、標準機能としてご利用いただけます。
AT-VST-APL-06またはAT-VST-APL-10ではAT-Vista Manager EXの機能に標準対応します。

※1 以下表のAMF CloudおよびSBx8100シリーズ以外のAMFマスター対応機器でVista Manager miniをご利用いただけます。

●AT-Vista Manager EX基本ライセンス

基本ライセンス	
AT-VST-BASE-1Y	AT-Vista Manager EX基本パッケージ（AMFノードマネージメント）1年

Vista Manager mini、Vista Manager APLのライセンスの詳細は当社HPをご覧ください。
https://www.allied-telesis.co.jp/solution/vista-ex/index.html

AMF、AMF-WAN製品別対応機器一覧表　AMF、AMF-WANに対応する機能や製品に応じて機器をお選びください。

カテゴリ	製品名	対応機能					
		AMF				AMF-SEC mini	AMF-WAN
		コントローラー	マスター	メンバー	アプリケーションプロキシ		
アプライアンス	AT-VST-APL	○※1	○※1	-	○	○※2	-
ソフトウェア	AMF Cloud	○	○	-	○	-	-
ルーター	AT-AR4050S	-	○	○	-	○	○
	AT-AR3050S	-	-	○	-	-	○
	AT-AR2050V	-	-	○	-	-	○
	AT-AR2010V	-	-	○	-	-	○
	AT-AR1050V	-	-	○	-	-	○
コア・スイッチ	AT-SBx81CFC960	○	○	○	○	-	-
	AT-SBx908 GEN2	○	○	○	○	○	-
	x950シリーズ	-	○	○	○※4	○	-
	x930シリーズ	-	○	○	○※4	-	-
ディストリビューション・スイッチ	x550シリーズ	-	○	○	-	-	-
	x530シリーズ	-	○	○	-	-	-
	x510シリーズ	-	-	○	-	-	-

カテゴリ	製品名	対応機能					
		AMF				AMF-SEC mini	AMF-WAN
		コントローラー	マスター	メンバー	アプリケーションプロキシ		
エッジ・スイッチ	x530Lシリーズ	-	-	○	-	-	-
	x320シリーズ	-	-	○	-	-	-
	XS900MXシリーズ	-	-	○※3	-	-	-
	GS980MXシリーズ	-	-	○※3	-	-	-
	GS980EMシリーズ	-	-	○※3	-	-	-
	x230/x230Lシリーズ	-	-	○	-	-	-
	x220シリーズ	-	-	○	-	-	-
	SH230シリーズ	-	-	○※3	-	-	-
	GS980Mシリーズ	-	-	○※3	-	-	-
	FS980Mシリーズ	-	-	○※3	-	-	-
産業用スイッチ	IE340/IE340Lシリーズ	-	-	○	-	-	-
	IE210Lシリーズ	-	-	○	-	-	-
	IE200シリーズ	-	-	○	-	-	-

※1 AMF Cloudをインストールして利用　※2 標準で対応　※3 AMFエッジノードとしてのみ対応　※4 要ライセンス

●上限の表　AMFマスター /AMFコントローラーライセンスの追加により、最大で以下のノード数を管理できます

	AT-AR4050S	x530シリーズ/x550シリーズ	x930シリーズ	x950シリーズ	AT-SBx908 GEN2/AT-SBx81CFC960	AMF Cloud（シングルモード*1）	AMF Cloud（マルチテナントモード*2）
AMFコントローラー（AMFマスター数）	-	-	-	-	60	60	300
AMFマスター（AMFメンバー数）	20	40	120	180	300	300	300

※1 1つの仮想マシンまたはAT-VST-APLにおいてAMFコントローラーまたはAMFマスターのいずれか1つを利用できます。両機能の同時利用はできません。
※2 1つの仮想マシンでAMFコントローラーおよびAMFマスターの両機能を同時に利用できます。AT-VST-APLでの利用時は本モードはサポートしません。1つの仮想マシンで管理可能なAMFノード数は最大18,000に制限されます。

ネットワークの運用管理を手軽でリーズナブルに実現可能

お困りごと

- ネットワークの運用監視を導入したいが、製品の初期投資にコストをかけたくない。
- もっと楽に、低コストで、ITインフラ運用・監視を行いたい。

アライドテレシスが解決

Net.AMFは、低コストで、お客様のネットワーク規模やご要望にあわせたサービスを提供

Net.AMFを利用することで、AMF、AWC（自律型無線LAN）、AT-Vista Manager EX、AMF-SECといった各機能をクラウドサービスとして提供します。

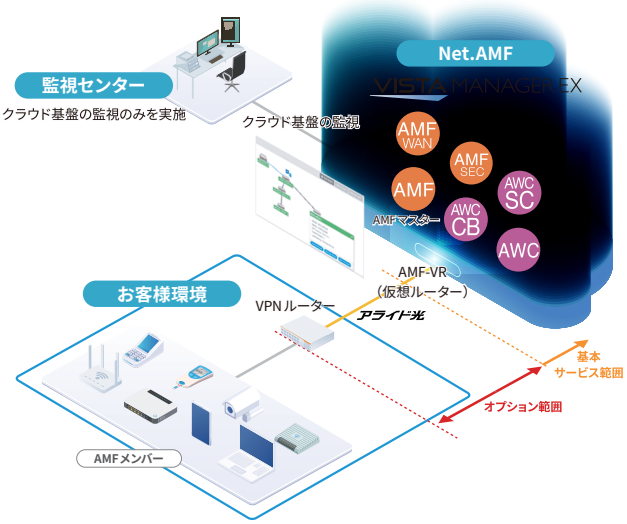
Net.AMF　プラットフォーム

クラウド　中～大規模の企業向け

お客様や販売パートナー様による管理・運用を想定したクラウド基盤のご提供サービスです。お客様は、AMF機能による機器の自動復旧や無線LAN環境の最適化、AT-Vista Manager EXのAMF管理機能/AWC機能、AMF-SEC機能をクラウドサービスとしてご利用いただけます。

導入のメリット

- クラウドサービス（中～大規模）
- プラットフォーム提供のため、設計から構築の自由度が高いサービス
- お客様の利用に合わせて、管理対象の機器台数のスケールアウトが可能



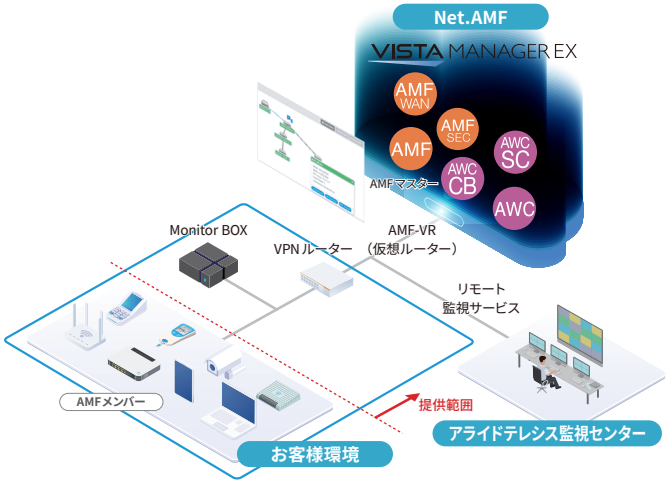
Net.AMF　スタンダード

クラウド　中～大規模の企業向け

クラウド基盤サービスの提供に、リモート監視サービスが含まれているため、運用・管理もアライドテレシスにお任せいただけます。Net.Monitorの各サービスを組み合わせて利用でき、システム監視・運用が大きく効率化します。

導入のメリット

- クラウドサービス（中～大規模）
- パッケージ提供によりMonitorBOX（リモート監視サービス）付き、はじめての導入・運用も安心サポート



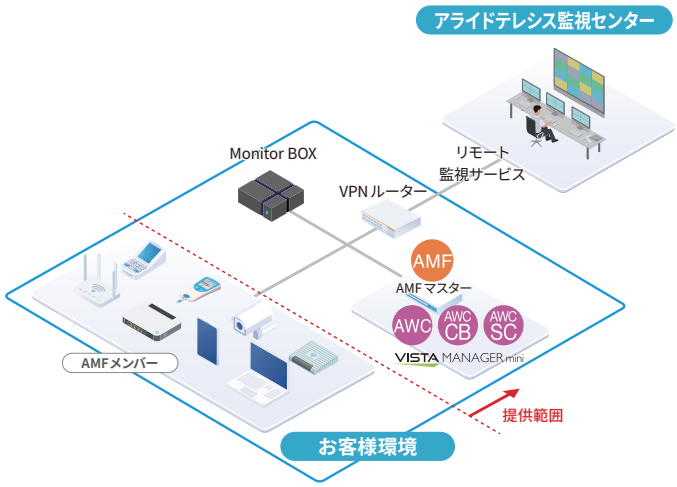
Net.AMF　ライト

オンプレミス　小規模の企業向け

管理対象の機器台数に合わせて、20台まで、45台まで、60台までの3つのラインナップを選択いただけるオンプレミス提供のサービスです。リモート監視サービスが含まれているため、障害時の一次切り分けや機器の交換、復旧をリモート支援することも可能です。

導入のメリット

- ●オンプレミス（小規模）
- ●管理対象の機器台数に応じて、3つの低コストなラインナップを提供
- ●パッケージ提供によりMonitorBOX（リモート監視サービス）付き、はじめての導入・運用も安心サポート



Net.AMFのメリット

アライドテレシス独自のITインフラ管理機能（AMF、AWC、Vista Manager、AMF-SECなど）をサービスとして提供し、ITインフラの運用管理の簡素化に加え、リモート監視・予兆検知による障害・トラブルの未然防止や早期復旧など、お客様のITインフラの安定運用をトータルに支援するサービスです。

●Net.AMF　サービス範囲比較表

項目		プラットフォーム	スタンダード	ライト 20／45／60
適応	規模	中〜大規模	中〜大規模	小規模
	対象機器	台数制限無し	マルチベンダー対応 台数制限無し	AMFメンバースイッチ：20台 AWC管理AP：40台
適応時間	受付時間・対応時間	24時間365日		
	連絡手段	電話またはメール		
リモート対応	リモート切り分け	●（基盤のみ）	●	● ※1
	リモート監視 ※2	●（基盤のみ）	●	●
環境対応	オンサイト切り分け	-	●	-
	オンサイト対応時間	-	24時間365日	-
運用自動化機能	AMFマスター機能提供	● クラウドサービス		● 機器貸出 ※3
	AMF管理機能提供	● クラウドサービス		● 機器貸出 ※3
	AWC機能提供	● クラウドサービス		● 機器貸出 ※3,4
	AMF-SEC機能提供	● クラウドサービス		-
その他	お客様ポータルサイト	-	●	● ※6
	サービス専用回線の提供	オプション	●	●
	その他オプションの選択	-	● ※5	-
	製品保守連携	-	●	●

※1 機器単体の切り分け　※2 Trap、システム情報、メモリ、CPU　※3 無線AP 20台以下…AT-AR4050S　無線AP 21台以上…AT- x530-28GTXm を機器貸出
※4 AWC機能のオプションサービスとして、AWC-CB機能、AWC-SC機能（リリース予定）を提供　※5 オンサイトの切り分け、定期ログの確認等オプションを多数選択可能
※6 ポータルサイト内のマップは含まれません

AMF、AMF-SEC、AT-Vista Manager EXの導入事例

医療



国家公務員共済組合連合会 虎の門病院



順天堂大学医学部附属 順天堂医院



医療法人社団 明生会

自治体



兵庫県市川町



伊丹市役所



丹波市

文教



国立大学法人 電気通信大学



学校法人就実学園 就実高等学校・中学校



国立大学法人 豊橋技術科学大学

製造・エンタープライズ



エスビー食品株式会社



AGC株式会社 相模工場



株式会社ZTV

詳細はこちら ▶▶▶
https://www.allied-telesis.co.jp/library/index.html

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM、SwitchBlade、Secure EnterpriseSDN、AMFramework、AMFPlus、VCStack、EPSRing、LoopGuard、AlliedView、AT-Vista Manager、AT-VA、AT-AWC、AT-UWC、Allied Telesis Unified Wireless Controller、EtherGRID、Envigilant、Net.Service/ネット・ドット・サービス、Net.Cover、Net.Monitor、Net.Assist、アライド光、Net.CyberSecurity、ネットドットキャンパスは、アライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●その他記載の会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。●記載の製品仕様および外観、標準価格および、その他情報は都合により予告なく変更する場合があります。●当社製品は、日本国外への持ち出しまたは「外国為替および外国貿易法」にいう非居住者への提供の場合、「外国為替および外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続をお客様の責任と費用で行われることとします。●当社製品は日本国内仕様であり、日本国外に輸出した場合は製品保証および品質保証の対象外になり、サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。●掲載されている写真は印刷の関係上、本来の色と多少異なる場合があります。●記載事項は2020年10月現在の内容です。●掲載内容を許可なく使用、複製、複写、改変、加工、転載等することを禁じます。

ネットワーク構築などのご質問やご相談、その他のお問い合わせ
https://www.allied-telesis.co.jp/contact/
E-mail : info@allied-telesis.co.jp
TEL : 0120-860442 (月～金/9:00～12:00、13:00～17:30 ※祝祭日除く)

アライドテレシス株式会社
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第2TOCビル

各支社、営業所のお問い合わせ先はホームページをご覧ください。
弊社ホームページ 会社案内 国内事業所一覧

販売店

C0041-LO2.0/2010-015SG-SN